

# **2020年3月期（第24期） 第1四半期 決算説明会**

(2019年4月～6月)

2019年8月9日

日本通信株式会社

**はじめに**

**代表取締役会長**

**三田 聖二**

# 日本通信のミッション

**Secure & Reliable  
Transportation of Data**

**安全・安心にデータを運ぶ**

# 第1四半期決算の概要

代表取締役社長

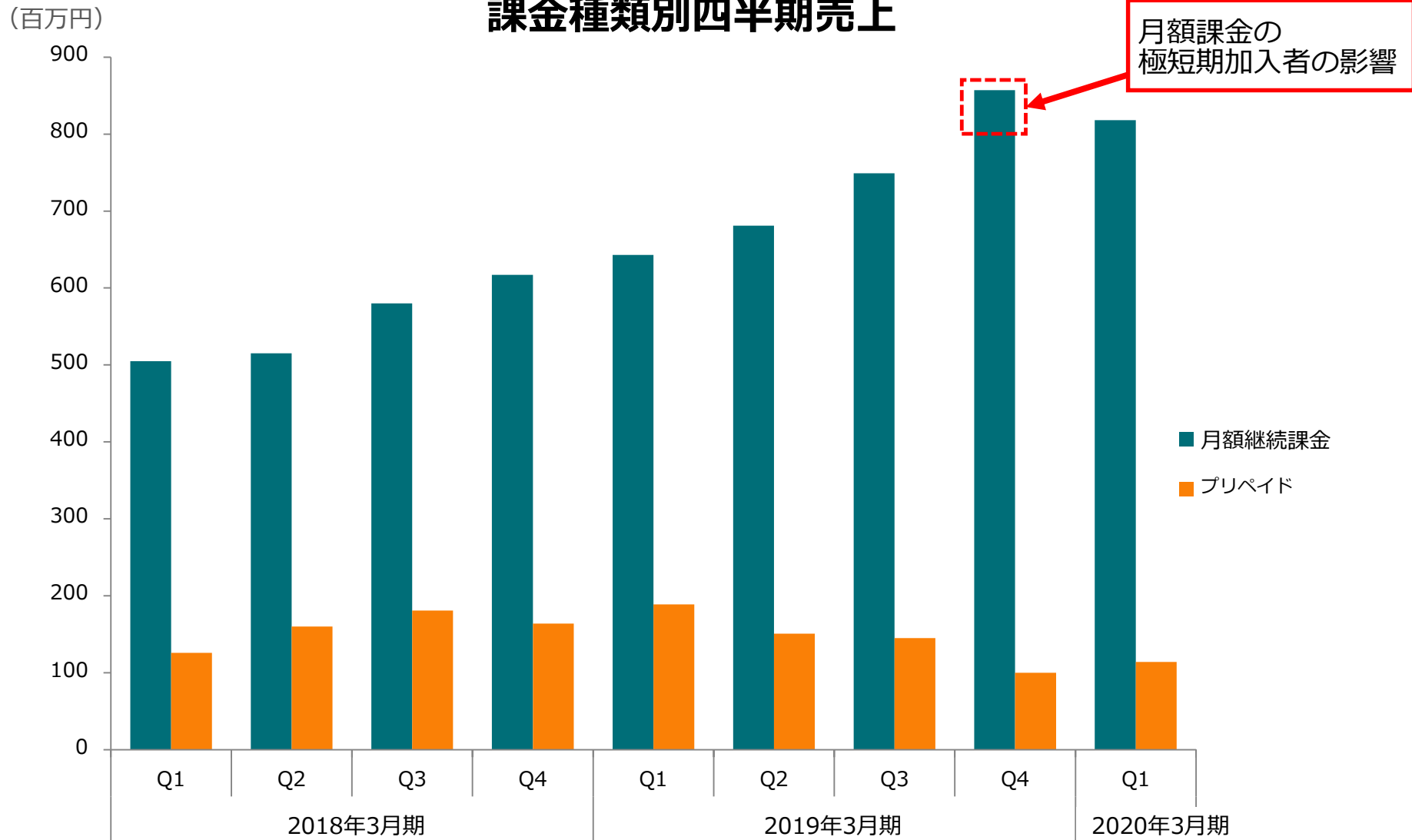
福田 尚久

# 第1四半期 実績 (連結)

単位：百万円 百万円未満切捨て	Q1 20/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 19/3期	Q to Q	Q1 19/3期	Y to Y
売上高	932 100.0%	957 100.0%	▲ 25 ▲2.7%	834 100.0%	97 11.7%
売上原価	678 72.7%	580 60.6%	97 16.8%	624 74.8%	54 8.7%
売上総利益	254 27.3%	377 39.4%	▲ 122 ▲32.6%	210 25.2%	43 20.9%
販売費及び一般管理費	434 46.7%	416 43.5%	17 4.3%	376 45.1%	58 15.5%
営業利益	▲ 180 ▲19.4%	▲ 39 ▲4.2%	▲ 140 -	▲ 166 ▲19.9%	▲ 14 -
経常利益	▲ 184 ▲19.8%	▲ 37 ▲4.0%	▲ 146 -	▲ 161 ▲19.4%	▲ 22 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 216* ▲23.3%	▲ 38 ▲4.0%	▲ 178 -	▲ 162 ▲19.5%	▲ 54 -

\* 米国子会社再編に伴う特別損失31百万円を含む

## 課金種類別四半期売上



# 第1四半期 実績 (連結)

(百万円)	2018年 3月期				2019年 3月期				2020年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
<b>売上</b>	<b>706</b>	<b>770</b>	<b>770</b>	<b>786</b>	<b>834</b>	<b>832</b>	<b>894</b>	<b>957</b>	<b>932</b>
通信売上	631	675	761	781	832	832	894	957	932
ハードウェア 売上	+44 75	+86 94	+20 9	+51 5	0 2	+62 0	+63 0	0	▲25 0
<b>営業損失</b>	<b>▲380</b>	<b>▲315</b>	<b>▲250</b>	<b>▲146</b>	<b>▲166</b>	<b>▲161</b>	<b>▲134</b>	<b>▲39</b>	<b>▲180</b>
	+65	+65	+104	▲198	-20	+5	+27	+95	▲141
			接続料の遡及 精算等の影響 を除くと				接続料の遡及 精算等の影響 を除くと	▲94	
								期ずれ*コスト(30)の 影響を除くと	
								▲124	▲150

\*当社会計ルールに基づく見積り計上と実際コストとの差分

# バランスシート (連結)

単位：百万円 百万円未満切捨て	Q1 20/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 19/3期	Q to Q	Q1 19/3期	Y to Y
<b>流動資産</b>	<b>1,365</b>	<b>1,360</b>	<b>4</b>	<b>1,534</b>	<b>▲169</b>
現金及び預金	859	643	216	838	20
売掛金	329	444	▲114	506	▲176
商品等	111	118	▲7	143	▲31
その他流動資産	97	189	▲91	105	▲8
貸倒引当金	▲33	▲35	1	▲59	25
<b>固定資産</b>	<b>334</b>	<b>320</b>	<b>13</b>	<b>248</b>	<b>85</b>
有形固定資産	41	41	0	27	14
無形固定資産	105	95	9	39	66
投資その他	186	183	3	181	4
<b>繰延資産</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>▲1</b>	<b>10</b>	<b>▲5</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,704</b>	<b>1,687</b>	<b>16</b>	<b>1,794</b>	<b>▲89</b>
<b>流動負債</b>	<b>968</b>	<b>989</b>	<b>▲21</b>	<b>1,002</b>	<b>▲33</b>
買掛金	375	357	17	354	20
前受収益	166	141	25	89	77
借入金	23	23	-	41	▲18
その他流動負債	402	467	▲64	516	▲113
<b>固定負債</b>	<b>33</b>	<b>40</b>	<b>▲6</b>	<b>56</b>	<b>▲22</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,002</b>	<b>1,029</b>	<b>▲27</b>	<b>1,058</b>	<b>▲55</b>
<b>純資産</b>	<b>701</b>	<b>657</b>	<b>44</b>	<b>735</b>	<b>▲33</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,704</b>	<b>1,687</b>	<b>16</b>	<b>1,794</b>	<b>▲89</b>



# キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：百万円 百万円未満切捨て	Q1 20/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 19/3期	Q to Q	Q1 19/3期	Y to Y
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲9	▲27	17	▲20	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲24	▲31	6	▲30	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	253 <sup>*</sup>	▲6	259	▲52	305
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲2	▲0	▲1	0	▲3
現金及び現金同等物の増減額	216	▲66	282	▲102	319
現金及び現金同等物の期首残高	643	709	▲66	922	▲279
現金及び現金同等物の期末残高	859	643	216	819	39

\* ストックオプションによる資金調達259百万円を含む

# 現在の取り組み

# 「安全な通信」提供における戦略の進化

従来

モバイル専用線  
(当社特許技術)

ノード (端末及び中継点他) の保護  
当社子会社Arxceo社の特許技術

開発を停止

今後

モバイル専用線  
公衆網を使った専用線

日本で強化

FPoS及び派生技術

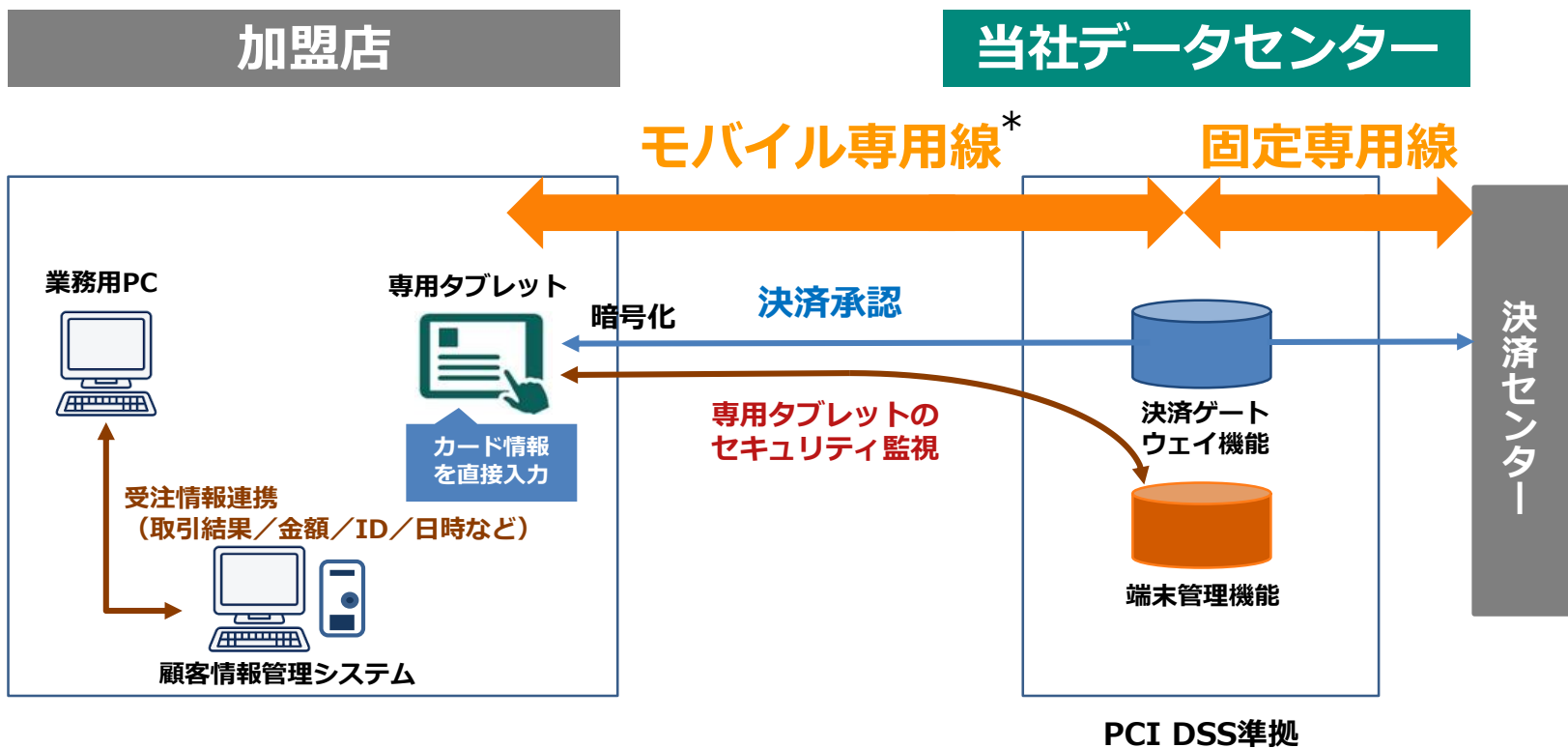
日本における  
FPoSの立ち上げ  
及び  
派生分野に  
集中的に取り組み

my LTE/ローカル5G  
基地局を含めた専用ネットワーク

米国  
CBRS  
に集中

# ① モバイル専用線

# クレジットカード決済システム



\* 当社の特許技術

- **クレジットカード決済システム向け**
- **自動精算システム向け**  
クレジットカード情報と顧客情報を取り扱うため  
「PCI DSS\*」認定が必須
- **ATM向け**
  - ✓ ISDNの置き換えニーズ
  - ✓ データ + 音声に対応

\* PCI DSS: JCB・American Express・Discover・MasterCard・VISAの世界大手カードブランド5社が共通で採用するクレジットカード業界の国際セキュリティ基準。2008年6月米国で認定取得、2018年12月日本で認定取得

## ② FPoS及び派生技術

- **年度内に特定地域における商用実証**  
技術、システム、制度、許認可、銀行との連携
- **暗号資産（仮想通貨）用コールドウォレット**
- **QRコード決済のセキュアプラットフォームとして**
- **マイナンバーカード**

「格安携帯事業者（日本通信）が、金融庁の平成30年度実証事業を活用し、SIMに重ねて用いる『サブSIM』に民間の電子証明書を搭載するサービスを、端末やキャリアに縛られず、低廉な料金で提供する動きが出てきた。」

「iPhoneを含めた幅広い端末・キャリアのスマートフォンへの搭載に向け、サブSIM方式についても、公的個人認証の利用者証明用電子証明書を搭載するための技術的課題や安全性の基準をクリアする必要があることから、平成31年度予算案に実証実験の経費を計上し、実証を進めることとしている。」



# ③ my LTE/ローカル5G

## 基地局を含めた専用ネットワーク

## まずは米国CBRS<sup>\*</sup>に集中

- **CBRSをショッピングモールに設置し、カメラとAIの連携で来場者数をカウント**
- **携帯キャリア基地局とCBRS基地局を両方使えるSIMの開発**
- **OTA SIM for CBRS(USIM) 発売**

\* CBRS: Citizens Broadband Radio Systemの略。日本では「ローカル5G」や「周波数免許不要のLTE」という形で、周波数共有の検討が進められている

# 喫緊の課題

2019年5月17日

改正電気通信事業法公布

2019年10月1日 ( ? )

改正電気通信事業法施行

端末代金と通信料金の完全分離

「端末代金の値引きの上限は2万円」

「携帯料金4割値下げ」

- 健全な端末市場の育成へ
- MNO<sup>\*</sup>からMVNOへの切替障壁の低下

- MNO+MVNO約1000社以上の競争へ

**MNOとMVNOのイコールフットイングが必須**

\*MNO : Mobile Network Operatorの略。NTTドコモ、KDDI、SoftBankが該当

# 音声定額サービス

		NTTドコモ		au		SoftBank	
現行プラン	プラン名	かけ放題 オプション	5分通話無料 オプション	通話定額	通話定額 ライト	定額 オプション	準定額 オプション
	提供価格	¥1,700	¥700	¥1,700	¥700 (キャンペーン ¥500)	¥1,500	¥500
	通話料	24時間無料	5分以内 無料 超過 30秒/20円	24時間無料	5分以内 無料 超過 30秒/20円	24時間無料	5分以内 無料 超過 30秒/20円
	提供開始日	2019/6/1	2019/6/1	2019/6/1	2019/6/1	2018/9/6	2018/9/6
	対象プラン	ギガホ、ギガライト、 ケータイプラン		新auピタットプラン、 auフラットプランプラス auデータMAXプラン		ミニモンスター、 ウルトラギガモンスター+、 スマホデビュープラン	
旧プラン	プラン名	カケホーダイ	カケホーダイ ライト	カケホ (電話カケ放題プラン)	スーパーカケホ	スマホ放題	スマホ放題ライト
	提供価格	¥2,700	¥1,700	¥2,700	¥1,700	¥2,700	¥1,700
	提供開始日	2014/6/1	2015/9/25	2014/8/13	2015/9/18	2014/7/1	2015/9/25
	受付終了	2019/5/31	2019/5/31	2019/8/31	2019/8/31	2018/9/5	2018/9/5

# イコールフットティング???

	MNO	MVNO	
データ通信料	値下げ	現状維持	→ 接続料の適正化が必須 「イコールフットティング」
音声通話定額	あり	なし	→ 通話定額MVNOへの 提供が必須

**このままでは同じ土俵で戦えない**

**私、三田聖二が**

**MVNO産業を**

**守る**

**Q & A**





日本通信のミッション

Secure & Reliable  
Transportation of Data

安全・安心にデータを運ぶ

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

本資料に記載されている会社名、商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。